

ニュース学童保育

=私たちの活動 4つの柱=
*制度化と指導員の身分保障
*専門性と仕事の確立
*父母と共に学童保育運動の発展
*全国の指導員との団結と連帯

新型コロナウイルス対応の補助金、満額取ろう

新型コロナウイルスの対応に関わる国からの補助金申請が各自治体で進められています。各学童保育所では緊急的な対応を迫られ、指導員の過重労働で何とか支えられている状態です。今回の補助金を自治体が確保すること、そして賃金に還元できるように取り組んでいきましょう。

補助金の趣旨は人件費

この間、お知らせしている通り、新型コロナウイルスの対応に関わる補助金は「人材確保」つまり人件費に使うことが趣旨です。

助金は、年度内に執行するように各自治体で動いています。

しかも、

全額を国が負担するの
で、自治体
は手続きを
するだけで
す。しかも、
「交付」申請にあたっては、可能な限り簡素な方法で（中略）事業者等の過度な負担となることがないよう」という事務連絡もできています。

補助金、各自治体の状況

- 表記⇒ (運) 午前中の運営費 (感) 感染拡大防止に係る費用
- 函館：(運)の申請資料まだ届いていないが、子どもの人数など調査票は届いている。
- 山形：(運)手続き、済んだ。満額下りる見込み。(感)上限30万、空気清浄機を買った。
- 福島：書類来ていないが、満額下りる見込み。対象期間は3月4日～23日の13日間分。
- 桐生：(運)下りない。行政「通常の運営費で足りているから」(感)行政からマスク50枚と、消毒液支給。
- 伊勢崎：(運)満額、下りる予定。(感)買うものの見積もりを出す。
- 所沢：(運)下りる見込み、行政と運営者側で打ち合わせ中。しかし、3月中欠席している子どもは一旦退所扱いとなり、保育料収入が減。
- 名古屋：(運)満額下りる、申請27日締め。(感)書類まだ来ていない。
- 姫路：(運)1日6時間分までは出すが、割増賃金分は対象外。行政「時間外の方は認めない」と。

学童保育拡充の契機に

2020年(令和2年)3月25日(水曜日) 10版

【一斉休校】
新型コロナウイルスの感染対策で休校が続く間、放課後児童クラブ(学童保育)に大きな負担がかかっている。子育て支援に必要な施設が、厳しい運営実態に目を向け拡充策を考へる機にしたい。

一斉休校の
一万八千二百八十八、二〇一九年五月時点学童保育を利用している児童が、待機児童数だ。たいのむきない待機児童だ。九年度は発生する前、都市部を中心にこれだけの子どもたちが利用できないほど施設は足りていない。

【一斉休校の】
厚労省によると、十四時以降学童保育を開設している自治体の約半割が午前中から開所する対応をとっている。それ以外でも低学年は学校が、高学年を学童

【一斉休校の】
厚労省によると、十四時以降学童保育を開設している自治体の約半割が午前中から開所する対応をとっている。それ以外でも低学年は学校が、高学年を学童

社説

中日新聞の社説で取り上げられていました。

「一日、3万200円」がそのまま下りる自治体（山形、名古屋など）もありますが、実績分しか出さない（姫路）、運営費で足りているから出さない（桐生）など、またしても自治体の判断で現場に公費を下ろさない動きがあります。

こうした実態を厚労省にも知らせ、該当するすべての学童保育所に下りるよう働きかけていきます。（事務局長 田村一志）

